

上関原発計画の現状報告

山口県民の皆様へ

2022.01.28

★中国電力(株)の上関原発「海上ボーリング調査」は祝島漁民の権利を無視！

中国電力株式会社(以下、中電)は、昨年6月29日より10月4日にかけて上関原発建設予定地の海域で海上ボーリング調査を強行してきましたが、一転して10月5日、調査を中断すると発表しました。

●事の発端は、上関原発計画で最も影響を受ける祝島漁民の海上ボーリング調査への同意を得ることなく、中電が山口県知事に調査のための一般海域占用許可申請をし、知事がそれを許可したことです。

道路工事で、土地所有者の同意もないのに調査や工事を行えないのと同じことです。



支援と監視に集まった皆さん



漁民の権利を無視したボーリング調査に抗議！

★ 山口県、中電は、憲法29条違反

●中電が、ボーリング調査に関する占用許可申請の際、祝島漁民を利害関係人に含めなかったことは、**財産権**を侵してはならないと定めている憲法29条に違反しており、また、「**公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱**」(閣議決定された補償基準)にも違反しています。

●山口県は、中電の違法な申請にもかかわらず「一般海域占用許可」を出しました。県も中電と同様に、**憲法29条**及び「**公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱**」に違反しています。

●中電が埋立免許や一般海域占用許可を得ても、埋立・調査により損害を受ける者に対して**補償をしなければ、埋立・調査に着手できません**。祝島漁民は補償金を一切受け取っていません。

●中電は、埋立・調査の根拠は2000年の補償契約と主張していますが、**債権の消滅時効は十年(民法167条)**ですから、2000年の補償契約に基づいて埋立・調査を行う権利(債権)は、すでに**消滅**しています。

●そもそも、2000年補償契約で2021年ボーリング調査を予想することも、補償額を算定することもできていたはずはありません。

中電は、2019～21年と3年連続で田ノ浦での「海上ボーリング調査許可申請」を山口県に提出、村岡知事はこれを許可してきました。

しかし祝島漁民には漁場である田ノ浦の海で漁を続けています。なぜなら祝島の漁民はボーリング調査に同意もしていないし、補償金も受け取っていないからです。

漁業権は漁民の**財産権＝生存権**です。

山口県が許可し県漁協が同意したと言っても、祝島漁民からの**同意**取得と**補償**がされない限りボーリング調査は出来ません。

そこで中電は、2014年山口地裁で祝島島民の会・祝島漁民38人との間で結んだ和解条項を引き合いに祝島漁民に調査を受忍する義務があると主張してきました。その裁判は、2009年に中電が平生町の田名埠頭から9基のブイを田ノ浦の海上へ設置しようとした時、祝島漁民が身を挺して海を守ろうとした行為を中電が裁判に訴え、2014年に和解が成立したものです。

しかし、和解条項には「適法に埋立てに関する工事を再開したとき」という前提条件があり、適法な埋立てのためには、祝島漁民に補償しておくことが必要です。補償を支払っていない**違法な埋立てに対して受忍義務はありません**。

★中電、上関原発建設に向けて始動中



長島トンネル

延長 396m・幅 6.5m・高さ 4.5m
建設費の約 13 億円は中電が全額負担しています。



トンネル出口（四代側）

原発道路拡幅工事中 工事費は非公開で数十億円と言われています。

オピニオン

脱炭素を原発の口実にするな

パートタイマー 西塔 文字63 (広島県)

9日本紙朝刊「気候変動と戦う」のコーナーが「原子力はサステナブル(持続可能なエネルギー)か否か」を巡り、欧州連合(EU)加盟国間で論争が起きていると伝えた。EUの行政執行機関にあたる欧州委員会傘下の研究機関は「原子力は……他のエネルギーと比べて、人の健康や環境に有害だ」という科学的な証拠は認められない」と肯定的な報告をまとめたという。ナインセンスと言うほかない。原発から放出された放射性物質による健康被害に関する研究は、例えばドイツでの、原発からの距離と小児白血病の発症との関係を調査した研究(略称・KIKK研究)や旧ソ連・チェルノブイリ原発事故の影響

9日本紙朝刊「気候変動と戦う」のコーナーが「原子力はサステナブル(持続可能なエネルギー)か否か」を巡り、欧州連合(EU)加盟国間で論争が起きていると伝えた。EUの行政執行機関にあたる欧州委員会傘下の研究機関は「原子力は……他のエネルギーと比べて、人の健康や環境に有害だ」という科学的な証拠は認められない」と肯定的な報告をまとめたという。ナインセンスと言うほかない。原発から放出された放射性物質による健康被害に関する研究は、例えばドイツでの、原発からの距離と小児白血病の発症との関係を調査した研究(略称・KIKK研究)や旧ソ連・チェルノブイリ原発事故の影響

「気候変動」だけなのか？ 放射性物質による汚染は地球の全生物にとって最大の環境問題だと思ふ。「脱炭素」を原発推進の口実にすべきではない。



田ノ浦海岸から祝島をのぞむ

【2021年12月27日(月)毎日新聞「声」欄より転載しました】